H - 穴あきケーキ

Time limit: 4sec / Memory limit: 256MB

問題文

クリスマスの時期が近づいてきました。あなたは友達のためにクリスマスケーキとして穴あき ケーキを作ることになりました。

穴あきケーキを作るために用いるケーキ生地は R 行 C 列の長方形状であり、 $i(1 \le i \le R)$ 行 $j(1 \le j \le C)$ 列の領域を領域 (i,j) と呼ぶことにします。領域 (i,j) を食べたとき、 $C_{i,j}$ キロカロリー得られます。また、領域 (1,1) が左上隅、領域 (R,C) が右下隅です。

あなたはこのケーキ生地を以下の手順によって穴あきケーキに加工します。

- まず、4 つの整数 a, b, c, d($1 \le a < b \le R, 1 \le c < d \le C, b a \ge 2, d c \ge 2$) を定めます。ケーキ生地のうち、領域 (a, c) を左上、(b, d) を右下とした長方形の部分を切り出します。
- 先の手順で切り出した部分について、端に存在しない領域 1 つ (領域 (e,f) $(a+1 \le e \le b-1,c+1 \le f \le d-1)$ とする) を選んで削除し、残りを穴あきケーキとします。

また、穴あきケーキの摂取カロリーは、穴あきケーキを構成する領域に定められたカロリーの合計値となります。

健康志向の友達は穴あきケーキを食べることによって得られる摂取カロリーがちょうど K キロカロリーとなるようなケーキを希望しています。あなたは条件を満たす穴あきケーキとして考えられるものの総数、すなわち、上記の条件を満たす 6 つの整数 a, b, c, d, e, f の選び方が全部で何通りあるかを計算することにしました。

入力

入力は以下の形式で標準入力から与えられる。

```
egin{array}{lll} R & C & K \\ s_1 \\ s_2 \\ \vdots \\ s_R \end{array}
```

- 1 行目には、ケーキ生地の行数 $R(3 \le R \le 350)$ 、列数 $C(3 \le C \le 350)$ および友達が希望している摂取カロリー量 $K(0 \le K \le 999,999)$ が空白区切りで与えられる。
- 2 行目から R 行には、ケーキ生地のカロリーに関する情報が与えられる。このうち $i(1 \le i \le R)$ 行目では 長さ C の文字列 s_i が与えられる。 s_i を構成する文字はいずれも '1' から '9' までの数字である。 s_i の左から $j(1 \le j \le C)$ 文字目の数字は、領域 (i,j) を穴あきケーキに含めることによって増加するカロリー量 $C_{i,j}$ に等しい。

出力

穴あきケーキとして考えられる総数を1行に出力せよ。出力の末尾にも改行を入れること。

入力例1

```
4 5 14
54311
11211
17312
11119
```

出力例1

Сору

ケーキ生地は下表のようになっています。

5	4	3	1	1
1	1	2	1	1
1	7	3	1	2
1	1	1	1	9

例えば、a=2, b=4, c=1, d=4 として切り出した場合、以下の領域が切り出されます。

1	1	2	1
1	7	3	1
1	1	1	1

さらに、e=3,f=2 として穴を開けると、穴あきケーキは以下の形状となります ('*' は穴を開けた場所を表す)。

1	1	2	1
1	*	3	1
1	1	1	1

このとき、摂取カロリーは、1+1+2+1+1+3+1+1+1+1+1=14 となり、条件を満たします。

他にも a = 1, b = 3, c = 3, d = 5, e = 2, f = 4 のときに条件を満たします。

入力例2

6 7 8	Сору
1111116	
1111111	
1111115	
1113111	

```
1211111
1111141
```

出力例2

```
Сору
```

穴あきケーキを構成する領域のカロリーの配置が同じでも、切り出す場所、穴を開ける場所が 異なれば異なるケーキとして数えます。

入力例3

```
3 3 9
211
121
112
```

出力例3

О

条件を満たす穴あきケーキが存在しない場合もあります。

入力例4

出力例4

Сору